２０２２（令和４）年度事業計画

１.「独りぼっちの視覚障害者をなくそう」の理念を実現するための本会づくり

　（１）各地域での体験・交流サロン等の実施と拡充

　（２）会員増に向けた具体的な取り組みのための検討

（３）「京都ロービジョンネットワーク」における当事者団体としての役割発揮

２．未来を見据えた組織づくりに向けての検討

（１）役員の世代交代に向けた取り組み

（２）地域団体の活性化に向けた検討

（３）視覚障害者福祉向上に向けて、役職員が一丸となった本会運営が進  
められるような体制づくり

３．それぞれの夢や希望を当事者団体としての運動に結び付けるための取り組み

４．制度拡充とそれぞれの自己実現を目指して

（１）同行援護事業利用者のニーズ把握と利用しやすい制度拡充

（２）情報・コミュニケーション支援の拡充

（３）雇用・就労対策の推進

（４）「障害者差別解消法」や各種条例に関する取り組みへの積極的な参加

（５）定期的に年度事業計画の進捗状況などを確認し、その後の活動にい  
かしていく体制づくり

５．視覚障害の正しい理解と普及に向けた広範な府・市民への広報活動の充実

（１）音訳・点訳、情報支援機器等、視覚障害者支援ボランティア及びガ  
イドヘルパー等支援者の養成

（２）FacebookなどのSNS、インターネットなどを活用した積極的な広報  
活動の推進

６．「財政健全化計画」の立案と継続実施